

つわぶき後援会の活動

★カレーフェア

全学科・学年を対象としたカレーフェアを開催しています。つわぶき後援会からはカレー皿、スプーンを寄贈しました。

大学では学生自治会の皆さんと一緒に、毎年学生生活応援企画を計画しています。今年は全学年を対象とするカレーフェアを計画しました。カレーフェアとは、学食のカレーと好きなトッピング1つを選んで自分好みのカレーを作り、学生に無料で食べてもらう企画です。春学期は、7月23日と29日に開催し、健康栄養学科1年生、3年生、別科助産学専攻、看護学科3年生計138名が参加しました。実施後のアンケートは、「無料で美味しいものを食べれるのは最高」「温玉トッピングもあって嬉しかった」「とてもいい企画でした！勉強頑張れました！」「友人と一緒に美味しいカレーを味わうことができ、楽しい時間を過ごすことができました。」という感想が多数寄せられ好評価でした。実際の様子も仲良く美味しく食べる姿がみられ、楽しいひと時となりました。秋学期に継続して開催予定です。



★サークル紹介

つわぶき後援会では各サークルの支援を行っています。今回は手話サークルの活動について紹介します。

手話サークルは、2022年に立ち上げたばかりの新しいサークルで、約20名が所属しています。月に1回2人の講師（聞こえない講師と聞こえる講師）をお招きし、手話を学んでいます。SNSでも手話を見たり、学んだりすることはできますが、教材だけでは学べない手話や地域での独特の表現などを学んでいます。聴覚障がいをもつ人が困ることの1つに、病院の待合で名前を呼ばれても分からないことがあるそうです。講師の先生は、自分の受診の順番がどんどん遅れてしまったと教えてくださいました。私たちが将来、医療や公衆衛生の道に進んだ際に、簡単な手話が使えれば聴覚障がいをもつ人が安心して受診や相談をしてもらえるのではないかと思います。手話サークルの構成員は初心者ばかりですが、初心者でも学びやすい環境となっています。自己紹介などの簡単な挨拶から始まり、日常的な手話、病院で使う実用的な手話のように段階的な学習を行っており、ユーモアたっぷりの講師（聞こえない講師）による明るく楽しい雰囲気空間が広がっています。私たちは、2人の講師のお陰で、言葉を超えて繋がることの重要性も学んでいます。手話に表情や口話をつけることで感情が伝わり、手話が十分でなくても、人と人が通じるという経験は、看護職を目指す私たちにとって、貴重な体験になっています。



★つわぶき祭

つわぶき後援会ではつわぶき祭（大学祭）の支援を行っています。今年度のつわぶき祭は開学30周年記念祭、5年ぶりとなる2日間の対面開催をしました。

また、つわぶき祭にあわせて保護者懇談会も開催しました。

1日目は屋外ステージで前半は軽音サークル・ダンスサークルのステージ、後半はつわぶき祭コンテストがあり、学生中心で会場を盛り上げてくれました。2日目は北陵高校吹奏楽部によるマーチングから始まり、最後は今年度のつわぶき祭の目玉企画であるヤングスキニーさんのスペシャルライブがありました。屋内ではメディカルキッズという子供向けの体験イベントや健康チェック等を行いました。看護栄養学部ならではのイベントや、学生主体での開催により、ご来場いただいた皆様に、出雲キャンパスの魅力が伝わったかと思えます。両日とも雨が降ってしまいましたが、前日の準備から片付けまで、たくさんの学生・教職員の方の協力があり、他にも企画・運営にたくさんの方が携わってくださいました。ご協力いただいた皆様への感謝を忘れず、来年度につなげたいと思います。来年度も楽しみにしててください！

学生自治会 会長 團香帆奈



~NEW.~
SHIMANE PREFECTURAL UNIVERSITY IZUMO CAMPUS
TSUWABUKIFES
In 2024.
6/8 (sat) ▶ 6/9 (sun)
10:00-17:00 10:00-16:00

ソーラン節
ダンス、軽音サークル
北陵高校マーチング
宝探しゲーム

鳥根県立大学つわぶき祭
SPECIAL LIVE

ヤングスキニー
2024 6.9 SUN
鳥根県立大学
出雲キャンパス体育館
鳥根県出雲市西条町1-5-1
OPEN.16:00 / START.17:00